



令和3年

# 救急統計

*Emergency Med.serv. statistics 2021*

薩摩川内市消防局

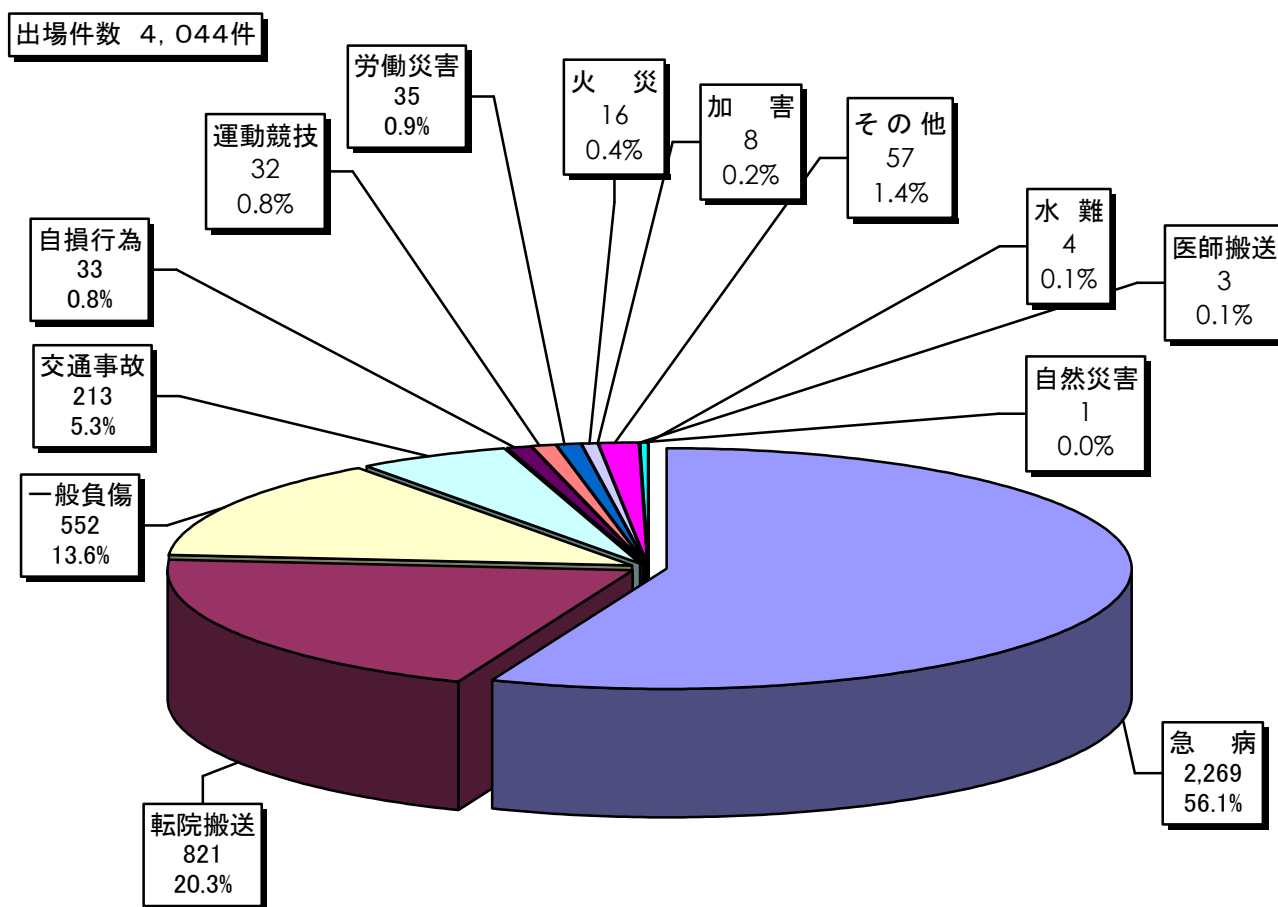
# 目 次

1	救急概要	1
2	救急活動状況	3
	過去10年間の出場状況	4
3	傷病程度別搬送状況	5
4	年齢区分別搬送状況	6
5	地域別出場件数状況	8
6	地域別年齢区分別搬送者の推移	9
7	救急隊別出場件数状況	12
8	現場到着所要時間出場件数状況	13
9	救急隊員応急処置実施件数状況	14
10	救急隊・救急救命士の現況	15
11	住民に対する応急手当普及啓発活動状況	16
12	CPA患者社会復帰状況	17
13	薩摩川内市消防局　ドクターヘリ要請件数	18

# 1 救急概要

## (1) 救急出場件数及び搬送人員

令和3年中は、4,044件出場し、3,629人を搬送しました。これは、昨年と比較して、出場件数は70件の減、搬送人員は71人の減となりました。



## (2) 事故種別及び搬送人員

事故種別では、急病によるものが最も多く2,269件で全体の56.1%を占め、次いで転院搬送の821件(20.3%)、一般負傷の552件(13.6%)、交通事故の213件(5.3%)となっています。

搬送人員でも、急病によるものが多く2,040人で全体の56.2%を占め、次いで転院搬送の782人(21.5%)、一般負傷の511人(14.1%)となっています。

### (3) 搬送医療機関等

医療機関別搬送状況は、救急告示医療機関<sup>※</sup>へ2,651人(73.1%)、その他の医療機関等へ978人(26.9%)を搬送しました。

搬送医療機関先は、管轄内の医療機関へ3,324人(91.6%)、管轄外の医療機関へ305人(8.4%)搬送しました。

※ 救急告示医療機関：救急隊によって搬送される患者を受け入れる医療機関の確保のため、救急医療を行うことを表明している病院・診療所のこと。救急病院等を定める省令に基づき、県知事が認定します。

管内では、川内市医師会立市民病院、済生会川内病院、市比野記念病院、上村病院、森園病院、高江記念病院、若松記念病院の7医療機関。

### (4) 甑島からの島外搬送

甑島からの島外搬送は、令和3年中に87件(里地域11件、上甑地域32件、下甑地域43件、鹿島地域1件)あり、昨年より4件の減でした。

島外搬送手段としては、船舶が64件(フェリーニューこしき33件、高速船甑島12件、漁船19件)、ヘリコプターが23件(鹿児島県ドクターヘリ19件、自衛隊ヘリ3件、海上保安庁ヘリ1件)となっています。

島外搬送における収容先は、鹿児島市へ48件、いちき串木野市へ21件、薩摩川内市へ18件となっています。

### (5) 救急救命士の処置状況

消防局には44人の救急救命士が勤務していますが、うち気管挿管認定救命士が29人、薬剤投与認定救命士が44人(うちブドウ糖投与・血糖測定認定42人)配置されています。

令和3年中に発生した重度傷病者(心肺機能停止患者)は155人で、60人を医療機関へ搬送し、うち44人に対し特定行為を実施しました。

特定行為の内訳は、気管挿管23回、静脈路確保(輸液)27回、アドレナリン投与21回、その他血糖測定73回、ブドウ糖投与6回でした。

昨年と比較すると、搬送した重度傷病者は8人減少しています。

## 2 救急活動状況

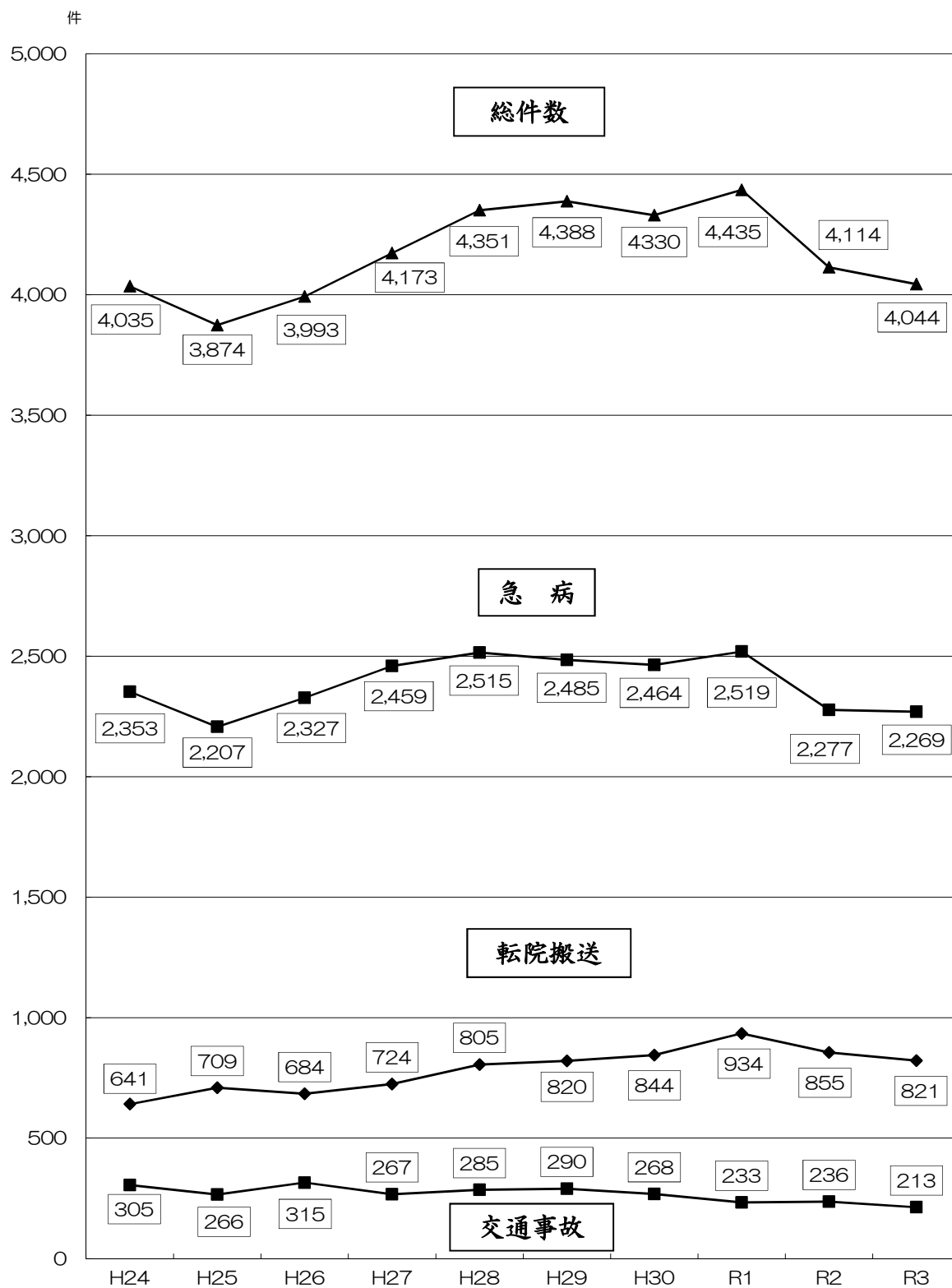
( ) は割合  
前年比、▲は減

事故種別	出 場 件 数				搬 送 人 員				
	3 年	2 年	前 年 比	構 成 比	3 年	2 年	前 年 比	構 成 比	
火 災	16 (0.4)	18 (0.5)	▲ 2	0.4%	2 (0.1)	2 (0.1)	0	0.1%	
自然災害	1 (0.0)	3 (0.1)	▲ 2	0.0%	0 (0.0)	0 (0.0)	0	0.0%	
水 難	4 (0.1)	4 (0.1)	0	0.1%	1 (0.0)	0 (0.0)	1	0.0%	
交通事故	213 (5.3)	236 (5.8)	▲ 23	5.3%	198 (5.5)	216 (6.0)	▲ 18	5.5%	
労働災害	35 (0.9)	38 (0.9)	▲ 3	0.9%	34 (0.9)	35 (1.0)	▲ 1	0.9%	
運動競技	32 (0.8)	20 (0.5)	12	0.8%	32 (0.9)	20 (0.6)	12	0.9%	
一般負傷	552 (13.7)	577 (14.3)	▲ 25	13.6%	511 (14.1)	528 (14.6)	▲ 17	14.1%	
加 害	8 (0.2)	7 (0.2)	1	0.2%	6 (0.2)	6 (0.2)	0	0.2%	
自損行為	33 (0.8)	31 (0.8)	2	0.8%	17 (0.5)	16 (0.4)	1	0.5%	
急 病	2,269 (56.1)	2,277 (56.3)	▲ 8	56.1%	2,040 (56.2)	2,062 (56.8)	▲ 22	56.2%	
その他	転院搬送	821 (20.3)	855 (21.1)	▲ 34	20.3%	782 (21.6)	809 (22.3)	▲ 27	21.5%
	医師搬送	3 (0.1)	7 (0.2)	▲ 4	0.1%	0 (0.0)	0 (0.0)	0	0.0%
	その他	57 (1.4)	41 (1.0)	16	1.4%	6 (0.2)	6 (0.2)	0	0.2%
合 計	4,044	4,114	▲ 70	100.0%	3,629	3,700	▲ 71	100.0%	

深夜帯における出場状況 (23:00 ~ 8:30)

	総件数	うち深夜帯		総件数(転院搬送除く)	うち深夜帯(転院搬送除く)	
令和3年	4,044	863	21.3%	3,223	799	24.8%
令和2年	4,114	864	21.0%	3,259	785	24.1%

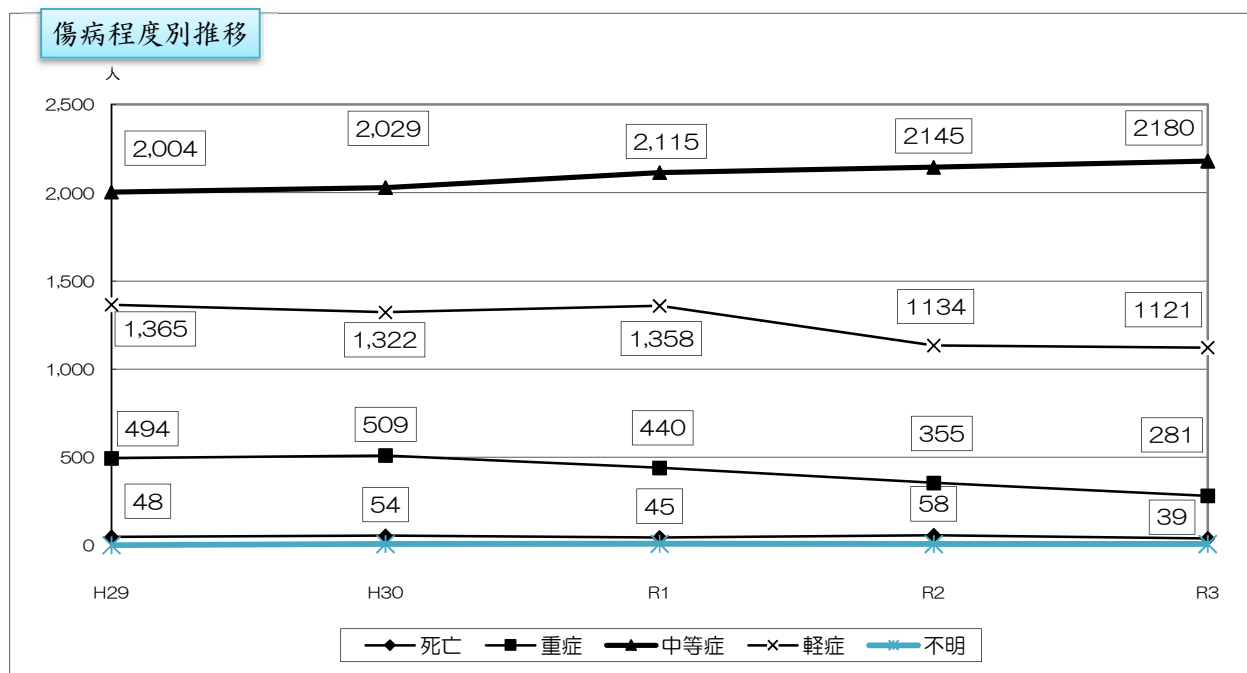
## 過去10年間の出場状況



### 3 傷病程度別搬送状況

事故種別 \ 程度	死亡	重症	中等症	軽症	その他	合計
火災			2			2
自然災害						0
水難	1					1
交通事故		6	62	130		198
労働災害		5	15	14		34
運動競技			16	16		32
一般負傷	5	38	282	186		511
加害			3	3		6
自損行為	2		5	10		17
急病	31	135	1,127	742	5	2,040
転院搬送		97	664	18	3	782
その他			4	2		6
合計	39	281	2,180	1,121	8	3,629
構成比(%)	1.1	7.7	60.1	30.9	0.2	100
前年	58	355	2,145	1,134	8	3,700
前年比	▲ 19	▲ 74	35	▲ 13	0	▲ 71

死亡 死亡と診断されたもの  
 重症 3週間以上の入院加療が必要なもの  
 中等症 入院を必要とするもので重症に至らないもの  
 軽症 軽易で入院を必要としないもの



#### 軽症者搬送割合の推移

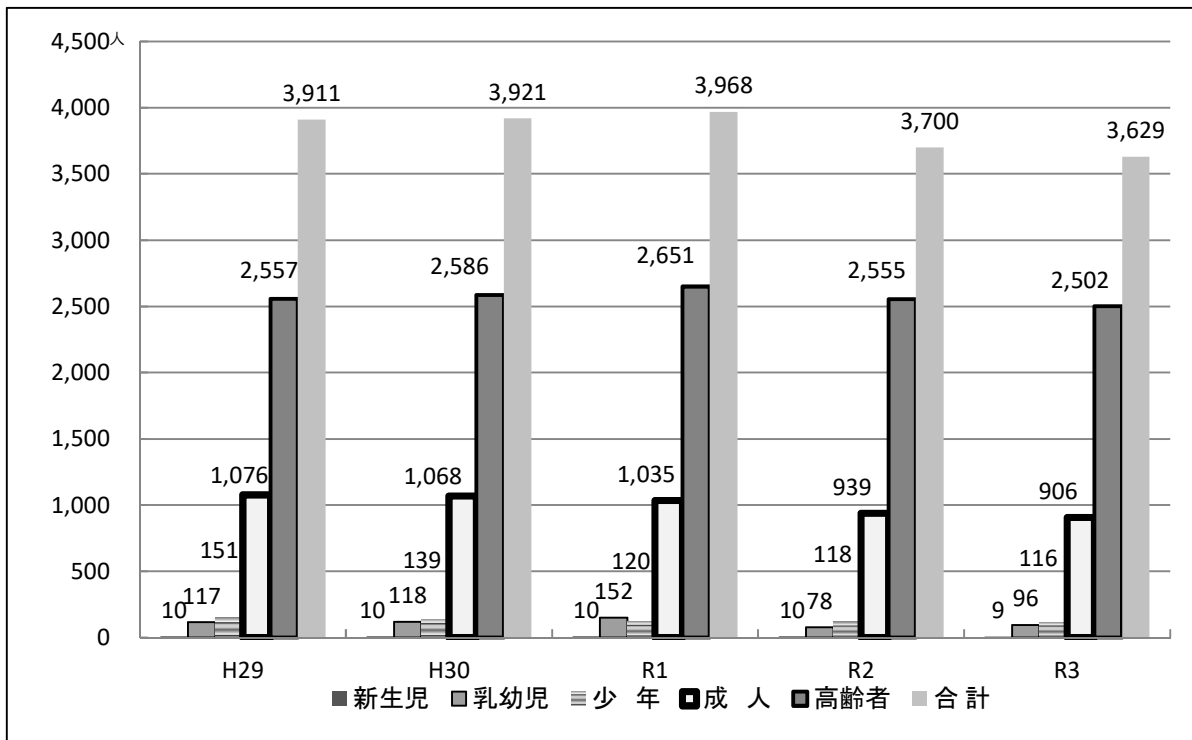
事故種別 \ 年	H25	H26	H27	H28	H29	H30	R1	R2	R3
軽症者の割合 (%)	35.8	35.5	34.4	35.3	34.9	33.7	34.2	30.6	30.9
急病	39.8	38.6	37.6	41.0	39.9	39.1	42.9	35.9	36.4
交通事故	69.7	62.8	63.7	65.8	64.9	70.0	66.2	65.3	65.7
一般負傷	39.8	43.9	43.9	38.6	41.5	39.5	37.4	39.2	36.4
その他	10.9	4.3	3.2	8.8	2.5	3.2	3.1	1.5	2.5

## 4 年齢区分別搬送状況

事故種別 \ 年齢区分	新生児	乳幼児	少年	成人	高齢者	合計
火災			1	1		2
自然災害						
水難					1	1
交通事故		4	18	94	82	198
労働災害				28	6	34
運動競技			22	8	2	32
一般負傷	1	19	8	84	399	511
加害				6		6
自損行為			1	13	3	17
急病		64	53	497	1,426	2,040
転院搬送	7	9	13	173	580	782
その他	1			2	3	6
合計	9	96	116	906	2,502	3,629
構成比(%)	0.2	2.6	3.2	25.0	68.9	100
前年	10	78	118	939	2,555	3,700
前年比	▲1	18	▲2	▲33	▲53	▲71

新生児 生後28日未満  
 乳幼児 生後28日以上満7歳未満  
 少年 満7歳以上満18歳未満  
 成人 満18歳以上満65歳未満  
 高齢者 満65歳以上

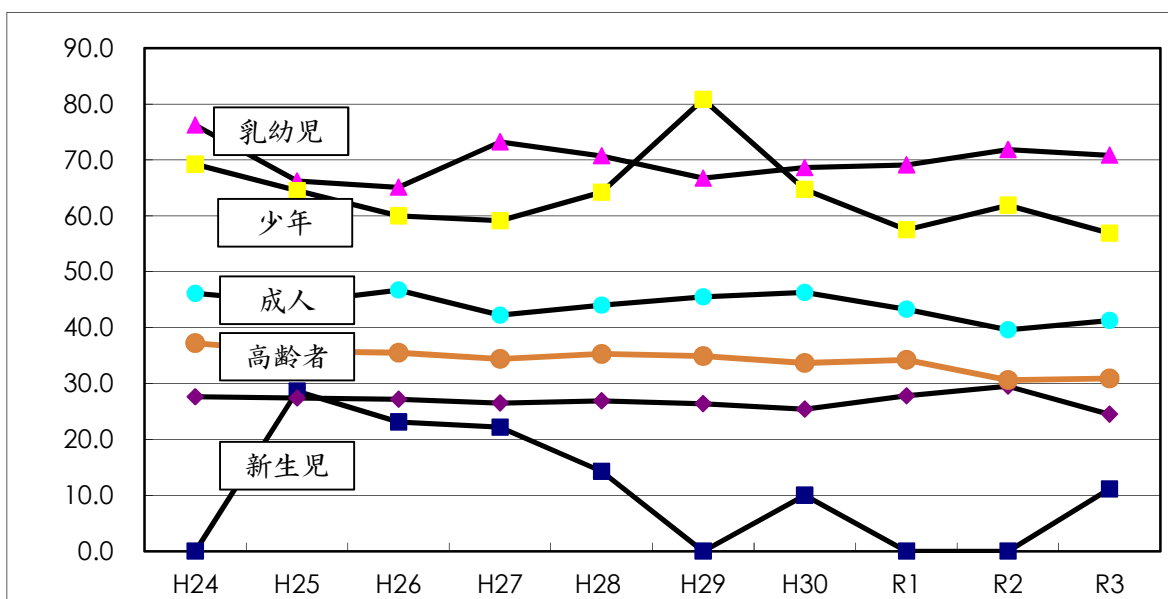
年齢区分別推移



### 年齢区分別軽症者搬送割合推移

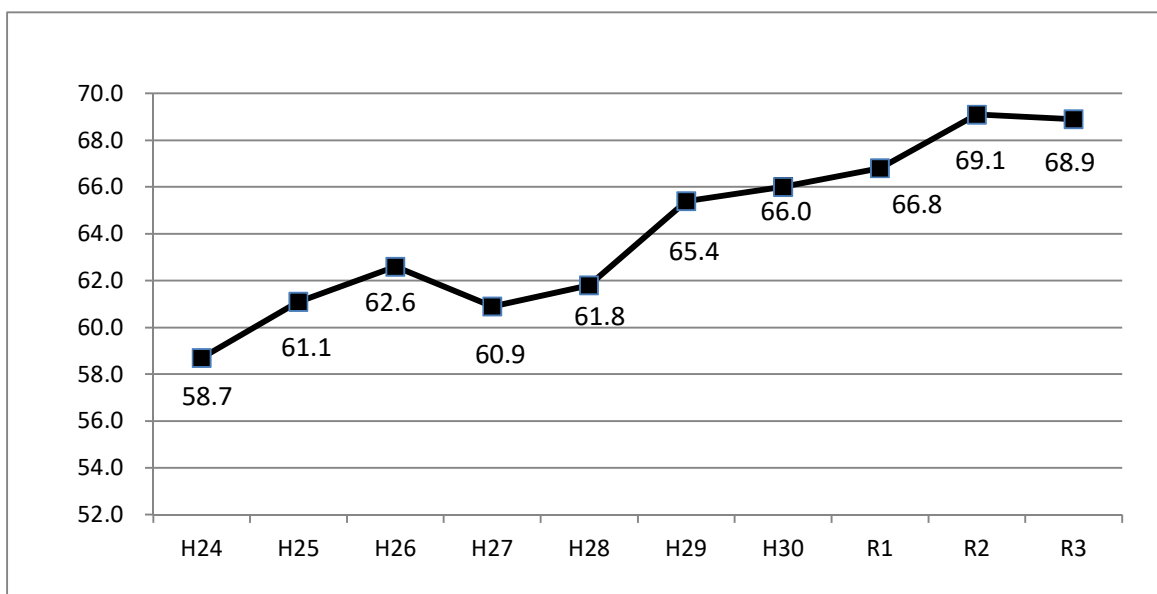
(%)

年区分	H24	H25	H26	H27	H28	H29	H30	R1	R2	R3
新生児	0.0	28.6	23.1	22.2	14.3	0.0	10.0	0.0	0.0	11.1
乳幼児	76.2	66.2	65.1	73.2	70.7	66.7	68.6	69.1	71.8	70.8
少年	69.2	64.5	60.0	59.1	64.2	80.8	64.7	57.5	61.9	56.9
成人	46.1	44.5	46.7	42.2	44.0	45.5	46.3	43.3	39.6	41.3
高齢者	27.6	27.4	27.2	26.5	26.9	26.4	25.4	27.8	29.5	24.5
全体	37.2	35.8	35.5	34.4	35.3	34.9	33.7	34.2	30.6	30.9



### 高齢者の搬送割合推移

(%)



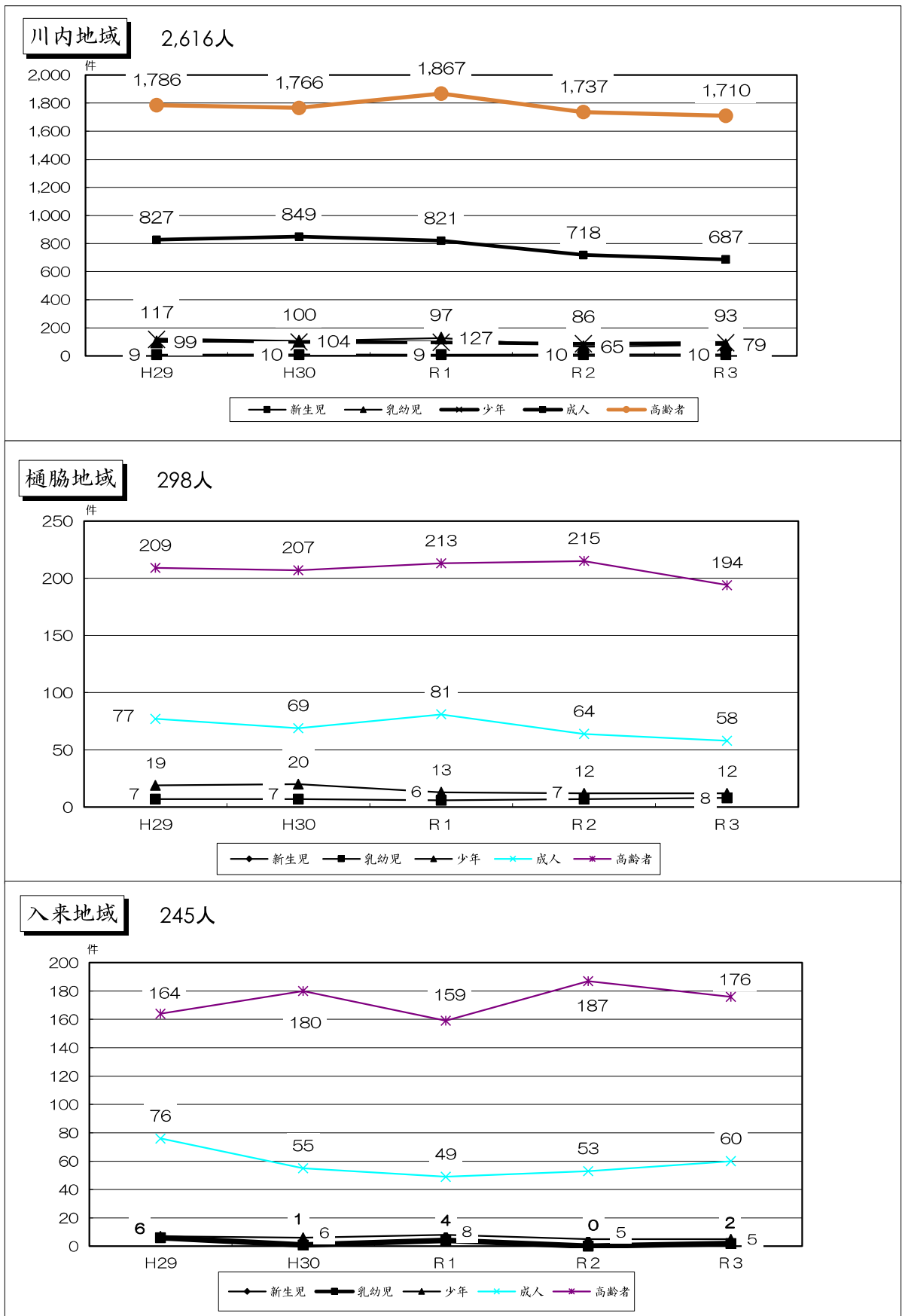
## 5 地域別救急出場状況

( )は、前年

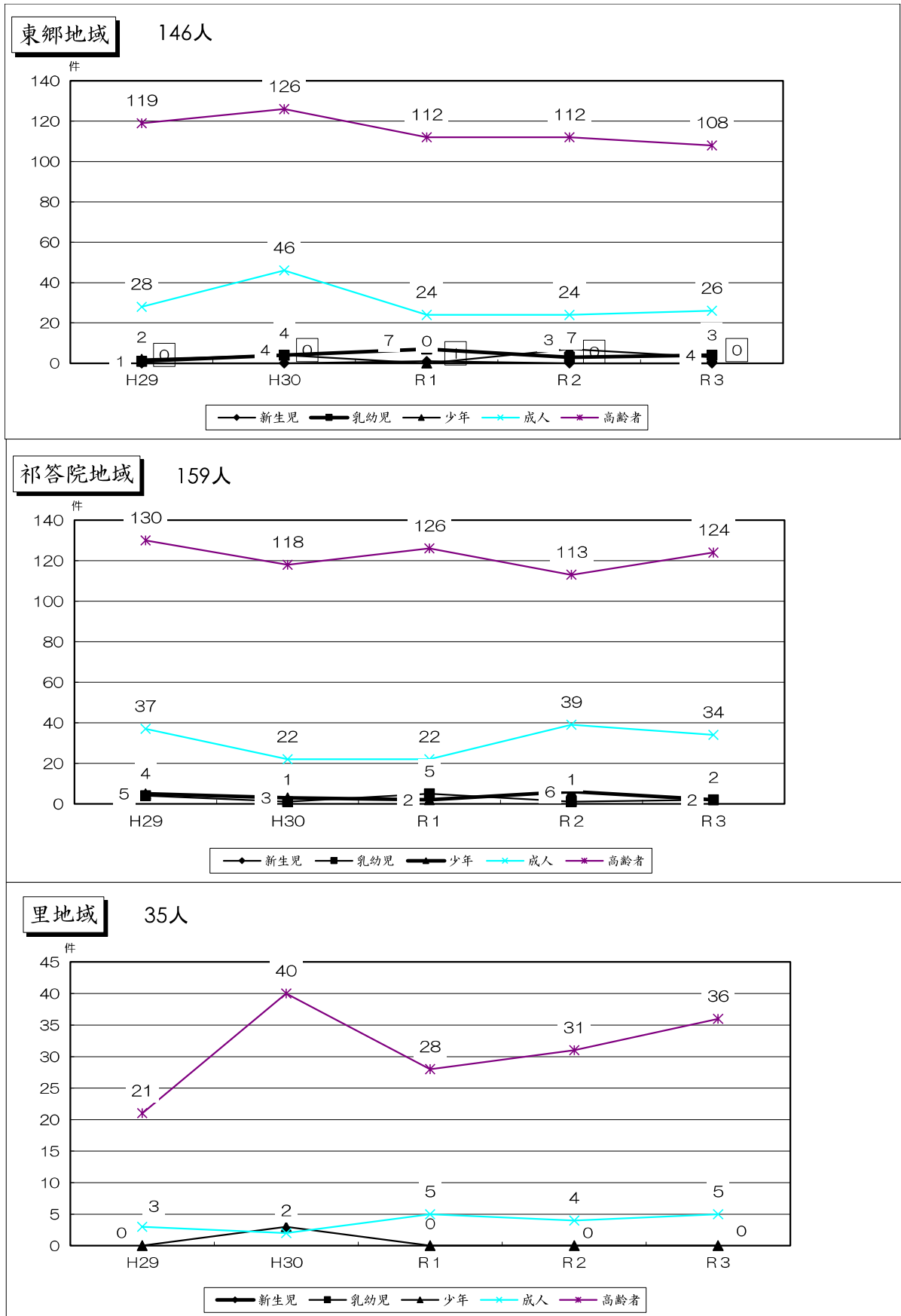
地域 種別	川 内	樋 脇	入 来	東 郷	祁 答 院	里	上 甌	下 甌	鹿 島	串 木 野	そ の 他	合 計	比 較
火災	6 (10)	3	2 (4)	1	3 (1)			1 (1)				16 (18)	▲ 2
自然災害	(2)	(1)						1				1 3	▲ 2
水難事故	3 (3)							1 (1)				4 (4)	0
交通事故	142 (184)	18 (15)	26 (14)	17 (8)	5 (9)	(3)	1	2 (1)			2 (2)	213 (236)	▲ 23
労働災害	23 (24)	1 (4)	2 (3)	2 (3)	3 (2)		1 (1)	3 (1)				35 (38)	▲ 3
運動競技	20 (13)	9 (4)	(1)	1 (2)	1			1				32 (20)	12
一般負傷	361 (378)	58 (59)	42 (52)	30 (26)	33 (32)	5 (4)	7 (9)	14 (13)		2 (3)		552 (577)	▲ 25
加害	7 (7)		1									8 (7)	1
自損行為	25 (25)	1 (1)	(1)	4 (2)	3			(2)				33 (31)	2
急病	1,557 (1,553)	158 (186)	186 (170)	98 (118)	126 (126)	25 (19)	39 (34)	56 (52)	11 (9)	13 (10)		2,269 (2,277)	▲ 8
転院搬送	643 (646)	43 (52)	10 (15)	(2)	12 (11)	17 (17)	21 (28)	42 (42)	7 (4)	26 (38)		821 (855)	▲ 34
その他	51 (38)		3 (1)	1	1 (1)	3 (3)		1 (3)				60 (48)	12
合計	2,838 (2,883)	291 (322)	272 (261)	154 (161)	187 (182)	50 (46)	69 (76)	122 (116)	18 (14)	41 (51)	2 (2)	4,044 (4,114)	▲ 70

※ その他・・・傷病者不搬送件数のうち、救急事故種別に分類されないもの

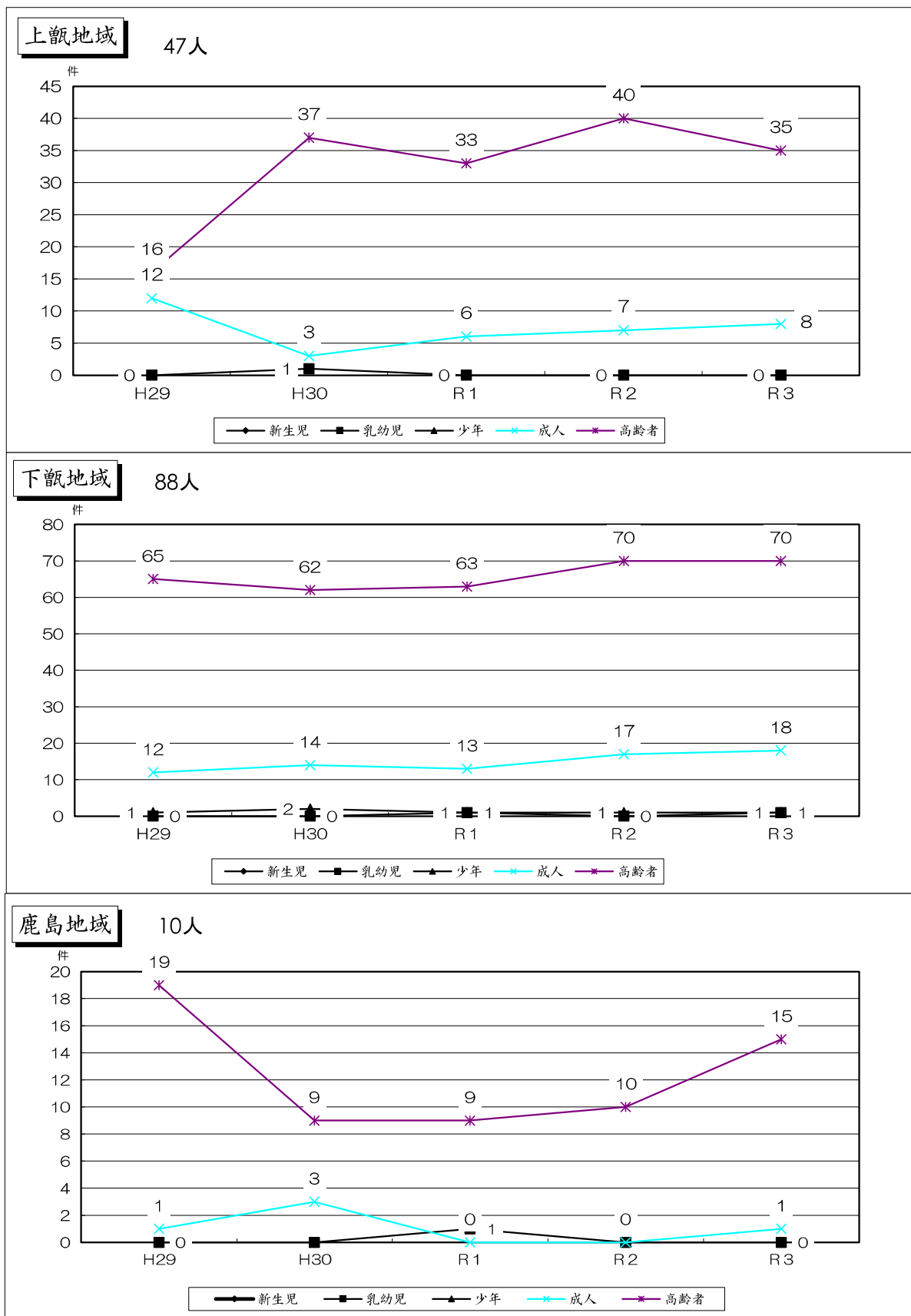
## 6 地域別年齢区分別搬送者の推移(1/3)



## 6 地域別年齢区分別搬送者の推移(2/3)



## 6 地域別年齢区分別搬送者の推移(3/3)



## 7 救急隊別出場件数状況

救急隊 事故種別	中 央 署					東 部 署	祁 答 院 分 署	西 部 署	合 計	P A 連 携					合 計
	小 計	中 央 署	南 部 分 署	上 甌 分 駐 所	下 甌 分 駐 所					中 央 署	南 部 分 署	東 部 署	祁 答 院 分 署	西 部 署	
火 災	11	2	8		1	1	3	1	16						
自然災害	1				1				1						
水 難	3	1	1		1			1	4						
交 通	137	54	80	1	2	37	12	27	213	8	12	8	5	5	38
労働災害	20	8	8	1	3	5	2	8	35		1			2	3
運動競技	21	9	11		1	9	1	1	32		2				2
一般負傷	367	134	207	12	14	106	31	48	552	9	13	7	2	7	38
加 害	7	1	6			1			8		1				1
自損行為	25	12	13			2	3	3	33	3	4	2	1	2	12
急 病	1577	557	889	66	65	348	129	215	2269	103	153	58	22	34	370
そ の 他	701	331	283	38	49	65	12	43	821						
そ の 他	51	11	36	3	1	5		4	60		3				3
合 計 (前年)	2921 (2,987)	1120 (1,141)	1542 (1,594)	121 (122)	138 (130)	579 (596)	193 (191)	351 (340)	4044 (4,114)	123 (130)	189 (223)	75 (100)	30 (3)	50 (39)	467 (495)
構 成 比 (%)	72.2	27.7	38.1	3.0	3.4	14.3	4.8	8.7	100						

※ P A 連 携  
 ポンプ車 (Pumper) と救急車 (Ambulance) が同時に出場するものであり、双方の頭文字から「PA」と名前をつけたものです。  
 心肺停止患者等の重篤な患者の現場や山中等の搬送困難な現場において、救急活動を実施する人員を増やすことにより、応急手当や救急車までの搬送時間を短縮し、救命率を上げることを目的として、救急車に加えてポンプ車などの消防車を同時に出場させています。



## 8 現場到着所要時間別出場件数状況

※現場到着時間

消防の覚知時刻（119番入電時刻）から、現場に到着するまでの時間をいう。

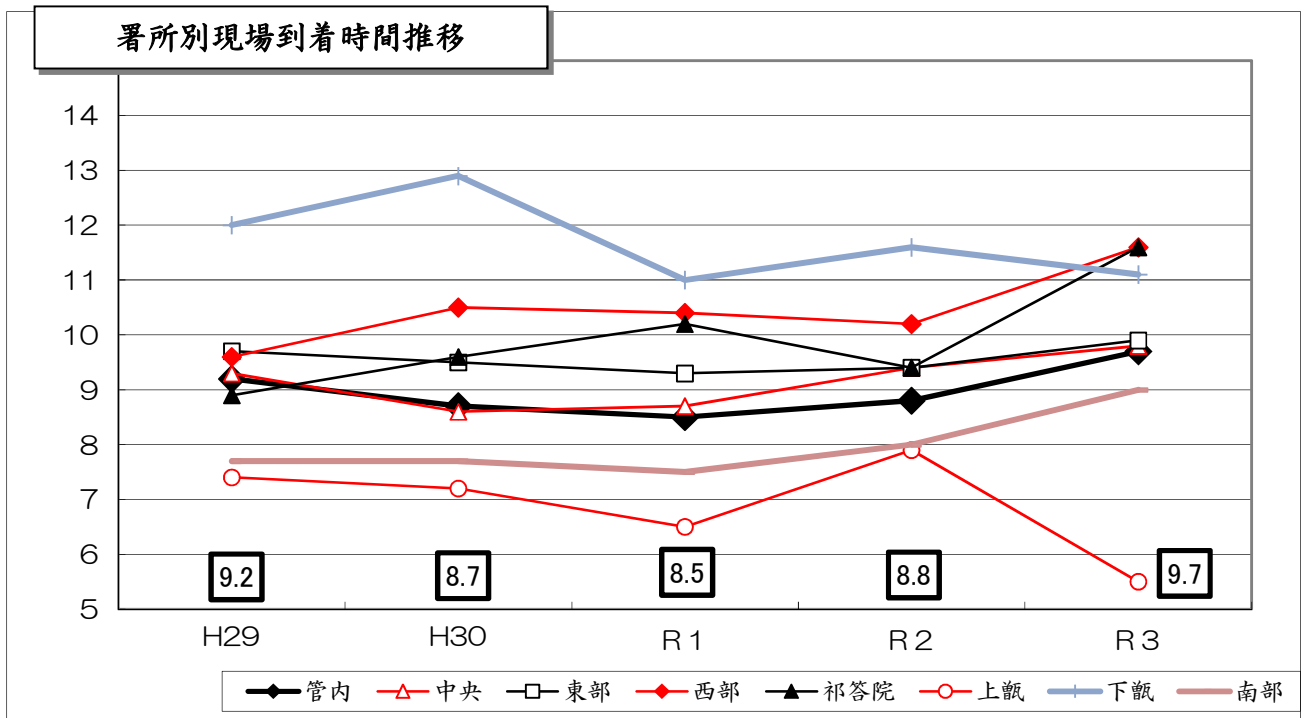
事故種別 到着時間	急病	交通	一般負傷	その他	計
3分未満	37	2	9	90	138
3分以上 5分未満	128	21	27	181	357
5分以上 10分未満	1,105	92	281	498	1,976
10分以上 20分未満	912	83	218	199	1,412
20分以上	87	15	17	42	161
計	2,269	213	552	1,010	4,044
現場到着 最短所要時間	1分未満	1分未満	1分未満	1分未満	
現場到着 最長所要時間	※1 38分	※2 43分	※3 26分	※4 76分	
現場到着 平均所要時間	10.2分	10.5分	10.0分	8.0分	9.7分

※1 他署管轄区域内へのお出で要請

※2 他署管轄区域内へのお出で要請

※3 管轄署の遠隔地からの出で要請

※4 管轄署の遠隔地からの出で要請



※南部分署については、平成29年10月5日17時15分から救急隊配備

※□枠は、消防局現場到着時間

## 9 救急隊員応急処置実施件数状況

事故種別		応急処置				合計	前年	前年比	
		急病	交通事故	一般負傷	その他				
止	血	4	11	45	11	71	66	5	
固	定		55	34	19	108	115	▲ 7	
心	肺	42		13	5	60	72	▲ 12	
酸	素	338	8	25	193	564	625	▲ 61	
気	道	54		11	9	74	99	▲ 25	
ただし、※1,2,3を除く									
保	温	37		10	10	57	165	▲ 108	
被	覆	6	33	107	20	166	186	▲ 20	
除	細	6				6	8	▲ 2	
動									
在宅療法継続		11		1		12	7	5	
※1	経鼻エアウェイ	2		1		3	4	▲ 1	
咽頭鏡・鉗子		1		1		2	1	1	
ショックパンツ						0	0	0	
血圧測定		1,923	192	482	840	3,437	3,495	▲ 58	
聴診器による心音・呼吸音等聴取		488	64	39	70	661	834	▲ 173	
血中酸素飽和度測定		1,968	196	489	856	3,509	3,580	▲ 71	
心電図		1,593	81	250	482	2,406	2,109	297	
特定行為	静脈路確保	CPA前	2	4	1		7	15	▲ 8
		CPA後	24		2	1	27	38	▲ 11
	※2	ラリングアルマスク等	3				3	3	0
	※3	気管挿管	16		5	2	23	26	▲ 3
	薬剤投与	アドレナリン	15		4	2	21	17	4
		ブドウ糖	6				6	9	▲ 3
血糖値測定		69	2	2		73	68	5	
その他の応急処置		1,975	190	490	836	3,491	3,371	120	
処置人員		2,040	198	511	877	3,626	3,683	▲ 57	
構成比 (%)		56.3	5.5	14.1	24.2	100.0			

※ 静脈路確保（CPA前）、血糖値測定、薬剤投与（ブドウ糖）については、平成28年から有資格者が誕生したことによる。

## 10 救急隊・救急救命士の現況

【令和4年1月1日現在】

### (1) 救急隊・救急救命士の配置状況

所 属	救急隊数	救急救命士数	備 考
消 防 本 部		5	警防課1 通信指令課3 出向1 (通信指令事務協議会)
中央消防署	1	8	
南 部 分 署	1	10	
上 甌 分 駐 所	1	2	
下 甌 分 駐 所	1	3	
東 部 消 防 署	1	6	
祁 答 院 分 署	1	4	
西 部 消 防 署	1	6	
合 計	7	44	

### (2) 救急救命士の資格認定状況

資 格	認定者	備 考
救急救命士	44	
気管挿管	29	
ビデオ喉頭鏡※	27	
静脈路確保(輸液)	44	
心肺停止前実施※	42	
薬剤投与(アドレナリン)	44	
血糖測定・ブドウ糖投与※	42	
指導救命士講習修了	5	認定者 4名

※については、平成26年4月1日救急救命士法改正に伴い、処置拡大が図られた。

## 1.1 住民に対する応急手当普及啓発活動状況

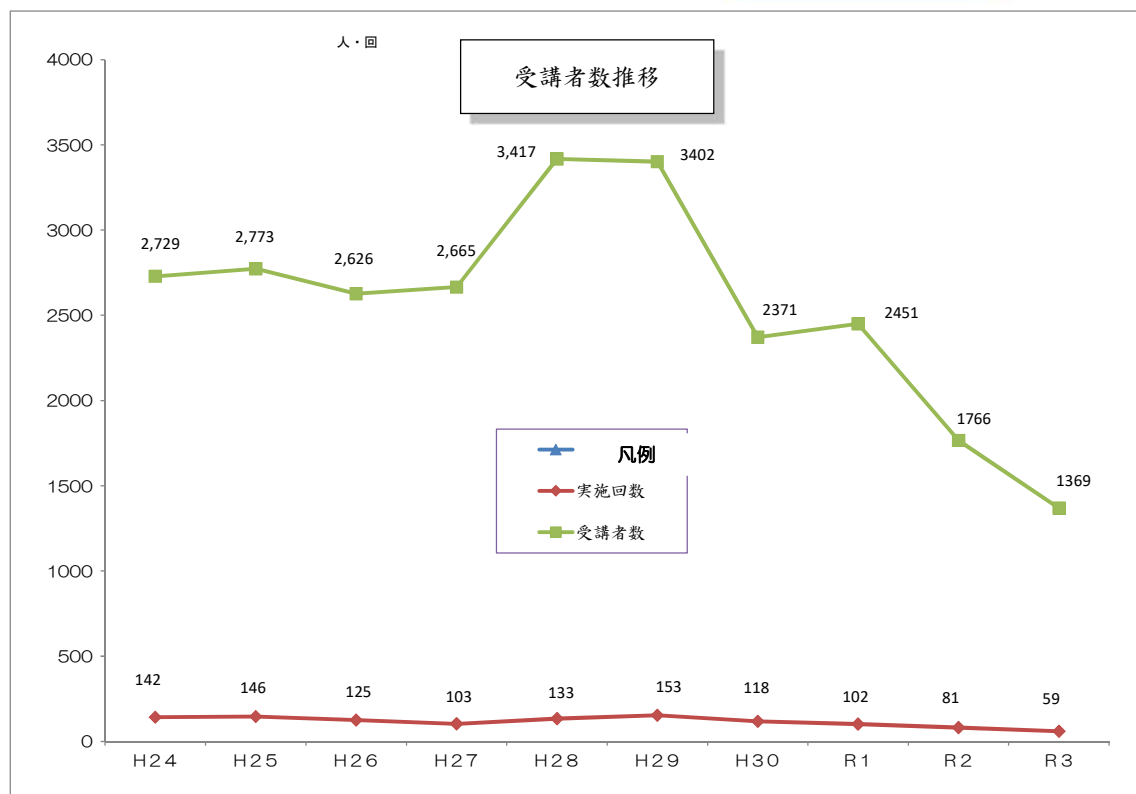
	H24	H25	H26	H27	H28	H29	H30	R1	R2	R3	
実施回数	142	146	125	103	133	153	118	102	81	59	
受講者数	2,729	2,773	2,626	2,665	3,417	3,402	2,371	2,451	1,766	1,369	
累計	23,412	26,185	28,811	31,476	34,893	38,295	40,666	43,117	44,883	46,252	
受講割合	全市民	22.3%	24.9%	27.4%	30.0%	33.2%	36.5%	38.7%	41.1%	42.7%	44.0%
	初回受講者	—	60%	77%	76%	79%	73%	74%	72%	73%	85%

※ 累計については、平成10年からの受講者数【受講割合については、合併時人口約105,000人で算定】

※ 平成17年から、AEDを含む講習会を開催



複数回受講者数	
2回目	4141人
3回目	1504人
4回目	460人
5回目	205人
6回目	111人
7回目	57人
8回目	39人
9回目	20人
10回目	18人
11回以上	9人



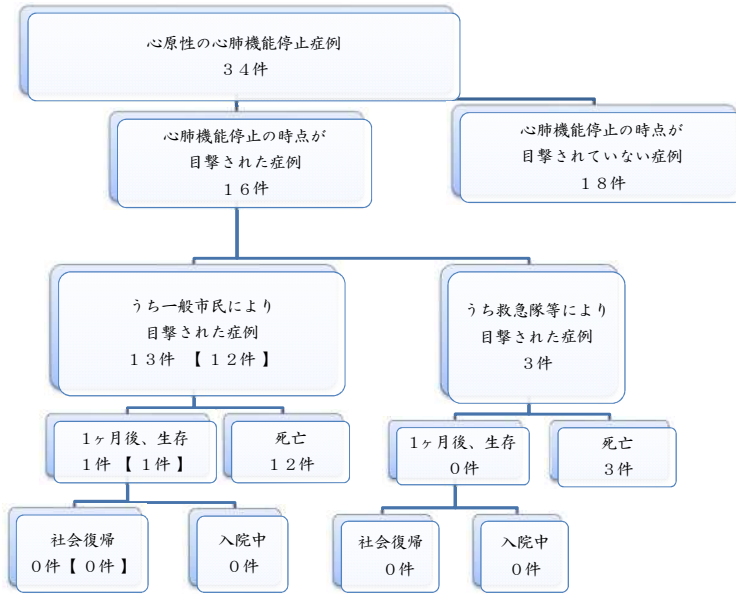
1.2 CPA患者社会復帰状況

区分	年																	
	H16	H17	H18	H19	H20	H21	H22	H23	H24	H25	H26	H27	H28	H29	H30	R1	R2	R3
CPA患者数(人)	72	84	66	98	77	78	86	110	105	71	88	88	77	83	90	77	68	63
バイスタンダー数(人)	11	27	24	42	31	36	29	42	44	26	38	45	45	58	44	22	28	30
バイスタンダーCPR実施率(%)	15.3	32.1	36.4	42.9	40.3	46.2	33.7	38.2	41.9	36.6	43.2	51.1	58.4	63.8	71.4	69.7	50.0	70.0
CPR口頭指導(件)	—	27	11	24	32	41	32	48	54	33	45	42	42	56	60	34	34	29
CPR実施率(%)	—	59.3	81.8	62.5	56.3	58.5	43.8	58.3	64.8	57.6	66.6	83.8	66.7	66.1	58.3	69.7	79.4	89.7
蘇生率(%)	0.0	0.0	9.1	17.3	14.3	12.8	20.9	19.1	19.0	19.7	15.9	23.9	27.3	12.5	13.3	6.4	7.4	25.4
社会復帰者(人)	0	0	3	6	6	4	2	4	2	2	0	4	1	6	5	3	3	1
社会復帰率(%)	0.0	0.0	4.5	6.1	7.8	5.1	2.3	3.6	1.9	2.8	0.0	4.5	1.3	7.2	5.6	3.9	4.4	1.5

\* CPA・・・CardioPulmonary Arrestの略で、心肺停止のことをいう。  
 \* CPR・・・CardioPulmonary Resuscitationの略で、心肺蘇生法のことをいう。  
 \* バイスタンダー・・・救急現場に居合わせた人（発見者、同伴者等）。  
 \* 社会復帰・・・心肺停止により救急搬送された人が、回復により歩いて退院したことをさす。

心原性で心肺機能停止の時点が目撃された症例の1ヶ月後生存率及び1ヶ月後社会復帰率

※ 心原性：心停止の原因が心疾患によると推定されるもの



※ 【 】内は、各項目のうちバイスタンダーによるCPRが実施された症例

平成17年からの状況

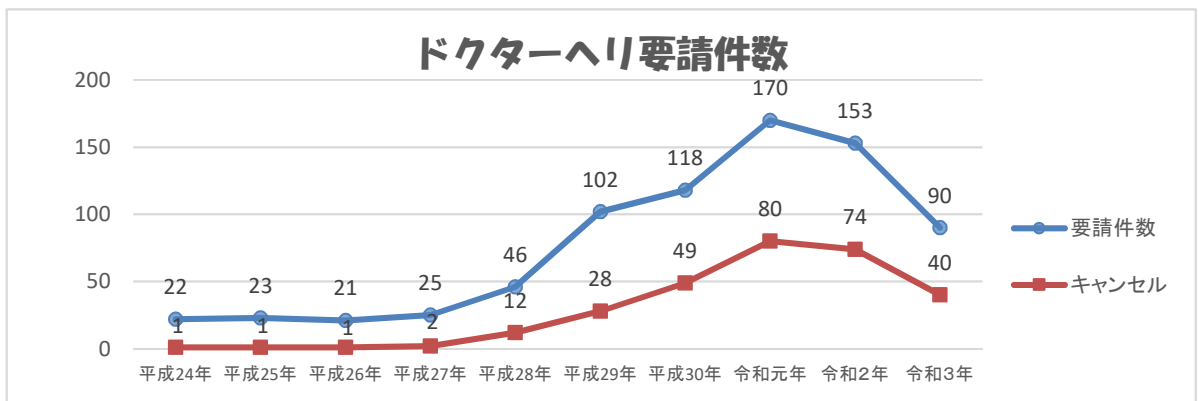
区分	年																	
	H17	H18	H19	H20	H21	H22	H23	H24	H25	H26	H27	H28	H29	H30	R1	R2	R3	
心原性の心肺機能停止症例(件)	47	30	51	46	35	46	54	62	44	58	58	42	44	63	52	53	34	
心肺機能停止の時点が目撃された症例	17	15	21	15	17	20	26	17	21	32	25	20	22	29	19	18	16	
うち一般市民により目撃された症例	12	12	19	12	15	15	21	12	19	27	19	16	21	25	14	14	13	
1ヶ月後生存(人)	0	1	4	3	1	3	5	3	3	2	2	1	4	4	2	1	1	
生存率(管内%)	0.0	8.3	21.1	25.0	6.7	20.0	23.8	25.0	15.8	7.4	10.5	6.3	19.1	16.0	14.3	7.8	7.6	
生存率(全国%)	7.2	8.4	10.2	10.4	11.4	11.4	11.4	11.5	11.9	14.8	13.0	11.7	13.5	17.5	17.3	15.2	—	
うち救急隊等により目撃された症例(件)	5	3	2	3	2	5	5	5	2	5	6	4	1	4	5	4	3	
1ヶ月後生存(人)	0	0	0	2	0	1	0	1	0	0	1	0	0	1	1	0	0	
生存率(%)	0.0	0.0	0.0	66.7	0.0	20.0	0.0	20.0	0.0	0.0	16.7	0.0	0	25.0	20.0	0.0	0.0	
心肺機能停止の時点が目撃されていない症例(件)	30	25	30	31	18	26	39	45	23	26	33	22	22	34	33	34	32	

# 13 薩摩川内市消防局 ドクターヘリ要請件数

運航開始 ~ R3.12/31 現在

年次	総件数	転院搬送		交通事故		急病		労働災害		一般負傷		その他		キャンセル	
		うち鹿島		うち鹿島		うち鹿島		うち鹿島		うち鹿島		うち鹿島		うち鹿島	
平成24年	23	14	8	1		2	1	2	1	3			1	1	
		リターン		1		1		1	1	2					
		Jターン					1	1		1					
		Iターン							1						
平成25年	21	10	6	5		3	2			2	1		1	1	
		リターン		3		1	1			1					
		Jターン			2		2	1			1	1			
		Iターン													
平成26年	25	10	5	3		5	1	2		3			2	2	
		リターン		3		1	1		2		1				
		Jターン			2		3	1			1				
		Iターン					1				1				
平成27年	46	13	8	5		7	1	6		3			12	12	
		リターン		3		3	1	5		1					
		Jターン				2		1			2				
		Iターン			2		2								
平成28年	102	19	11	12		22	3	10	2	9		2	28	28	1
		リターン		10		17	3	7	2	2	1				
		Jターン			2		1		1						
		Iターン			2		4		2		7		1		
重複要請1/30 入来町														火災1 自損行為1	
平成29年	118	18	7	8		20	4	6		14	1	3	49	49	
		リターン		3		13	4	4		6	1	2			
		Jターン			2		2			3					
		Iターン			3		5		1		5		1		
※他1件 不搬送(死亡確認)														水難2 運動競技1	
令和元年	170	29	16	7		39	4	5		9		1	80	80	3
		リターン		4		13	1	4		4		1			
		Jターン			1		6	2		2					
		Iターン			2		20	1	1		3				
自損1														火災1、自損1 運動競技1	
令和2年	153	20	14	6		33	5	4	1	13	1	3	74	74	1
		リターン				16	4	1		4	1	2			
		Jターン			2		6	1	2	1	4				
		Iターン			4		11		1		5		1		
自損1														火災1、自損1 運動競技1	
令和3年	90	20	15	4		14	1	6	3	5		1	40	40	3
		リターン		3		3	1	5	2	3					
		Jターン				3		1	1	1					
		Iターン			1		8				1		1		
火災1														火災1	

Uターン：ドクターヘリが基地病院(鹿児島市立病院)に搬送した場合  
 Jターン：ドクターヘリが基地病院(鹿児島市立病院)以外に搬送した場合  
 Iターン：ドクターヘリに収容せず、救急車での搬送により医療機関対応となった場合



※ 平成23年12月から鹿児島県ドクターヘリ運航開始

『救急車が到着するまで・・・この手で救える、あなたの命。』

Satsumasendai city Fire Dept.